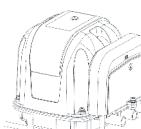


AP型エアーポンプ

施工・維持管理業者様用 取扱説明書

電磁式エアーポンプ



AP-70WCY
AP-100WCY
ばっき逆洗自動切換タイマー付

無給油
屋外仕様

付属品

- ご使用の前に下記の製品・付属品が全て揃っているかどうかご確認ください。
- ポンプ本体 1台
 - 取扱説明書(施工・維持管理業者様用) 1部
 - L型配管 2本
 - ホースバンド 4個

1.はじめに

安永のエアーポンプをご使用いただき、誠にありがとうございます。
この説明書には、取扱要領、施工要領、維持管理要領および注意事項を記載しています。
トラブルを防止・安全に使用していくため、下記のことをお守りください。
※この取扱説明書は、必ず読みながらご使用ください。
なお、本書の図やイラストは一例を示したもので、詳細は実際の製品と異なる場合があります。

2.警告表示について

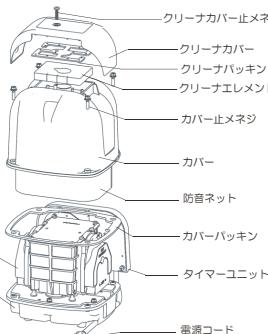
ここに表示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用者や他の人のへの危険、財産への損害を未然に防ぐための安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

この取扱説明書は、必ず読みながらご使用ください。

物的損害には、家庭・家財・家畜およびペットにかかる重大損害を示します。
お守りいただく内容の種類を、次の総合表示で区分し説明しています。

| | |
|--|---|
| | 製品の取り扱いにおいて、気をつけていただきたい 「注意喚起」内容を示します。 |
| | 製品の取り扱いにおいて、してはいけない「禁止」内容を示します。 |
| | 製品の取り扱いにおいて、必ず実行していただく「強制」内容を示します。 |

3.ポンプ構造

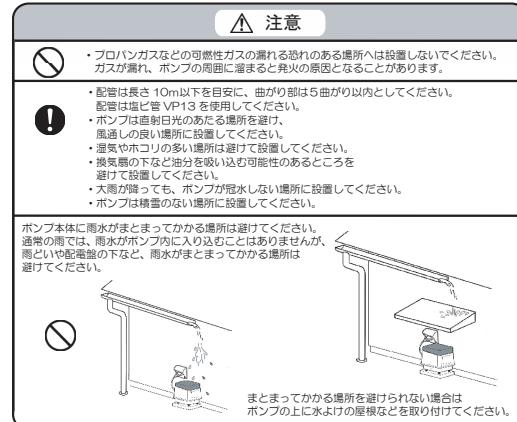


4.施工の前に

| | |
|--|--|
| | 本ポンプを指定電源以外で使用されると、感電や短絡事故の原因となる他、ポンプの性能を著しく低下させる原因となります。 本ポンプは空気の吐出専用です。 吸引用途や液体・固体の吐出用途には使用しないでください。 機器に組み込んで、装置の一部として使用される場合は、当社に問い合わせてください。 |
|--|--|

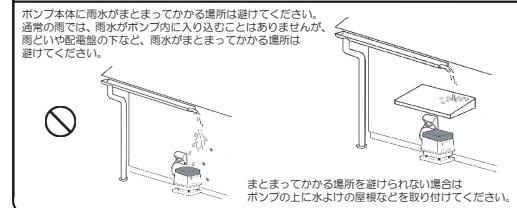
5.設置場所について

| | |
|--|--|
| | 維持管理が容易にできる場所に設置してください。 |
| | ポンプの近くに可燃物を置かないでください。 ポンプを水面近くに設置しないでください。 ポンプを停止させた時、ポンプが逆流し漏電、感電の原因となります。 ポンプの上に防護蓋などのカバーをかぶさないでください。 内部温度が上昇しポンプが早起動する原因となります。 確認してください。 |

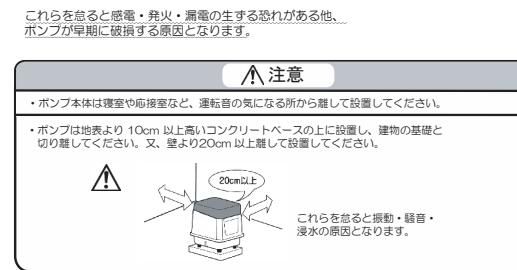


△ 注意

- ・プロパンガスなどの可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へは設置しないでください。
ガスが漏れ、ポンプの周囲に漏まると発火の原因となることがあります。
- ・ポンプは長さ10m以下を目安に、曲がり部は5曲がり以内にしてください。
配管は必ずVP13を押してください。
- ・ポンプは直射日光の当たる場所に設置しないでください。
直射日光の多い場所へは避け設置してください。
- ・温湯やホットの多い場所へは避け設置してください。
換気扇の下など水滴を吸い込む可能性のあるところを
避けて設置してください。
- ・雨漏りが降っても、ポンプが冠水しない場所へ設置してください。
- ・ポンプは構造のない場所へ設置してください。

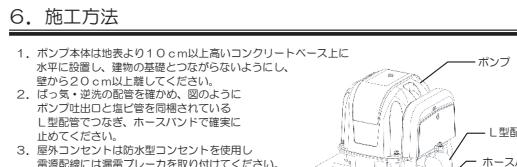


ましまってかかる場所を避けられない場合は
ポンプの上の上に水よけの緩慢などを取り付けてください。



これらを怠ると感電・発火・漏電の生ずる恐れがある他...
ポンプが早期に被損する原因となります。

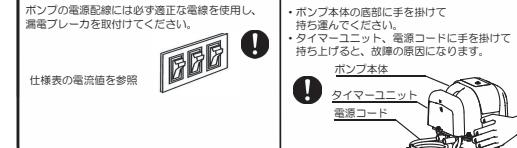
・ポンプ本体は寝室や廊下など、運転音の気になる所から離して設置してください。



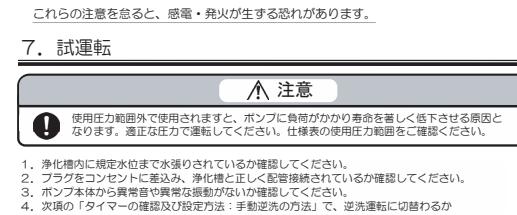
- ・ポンプは地表より100cm以上高いコンクリートベース上に
水平に設置し、建物の基礎につながらないようにし
壁から20cm以上離してください。
2. はっき、逆洗の配管を確かめ、図のように
ポンプ出口と壁に止める間に
L型配管で確実に
止めてください。
3. 屋外コンセントは防水型コンセントを使用し
電源配線には漏電フレーカーを取り付けてください。



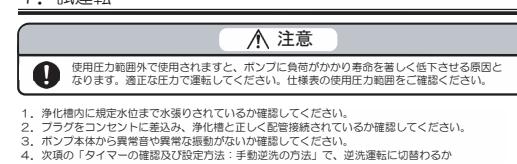
△ 注意
電源コードの抜き差しはフラグを持っておこなってください。
ポンプを屋外にて運転される場合は防水型コンセントを使用してください。



- ・ポンプ本体の底部に手を掛け
持ち上げてください。
・タイマユニット、電源コードに手を掛け
持ち上げると、故障の原因になります。



1. 濾水槽内に規定水位まで水張りしているか確認してください。
2. フラグをコンセントへ差込み、浄化槽と共に接続されているか確認してください。
3. ポンプ本体は異常音や異常振動がないか確認してください。
4. 次回の「タイマーの確認及び設定方法：手動逆洗」の方法で、逆洗運転に切替わるか
確認してください。



1. 使用圧力範囲内で使用されると、ポンプに負荷がかかり負荷を著しく低下させる原因と
なります。適正な圧力で運転してください。仕様表の使用圧力範囲をご確認ください。

8.タイマー設定の確認及び変更方法

本機は内蔵タイマーの設定によりぱっき、逆洗の自動切り替えを行います。運転前に設定の内容を確認して下さい。タイマーの操作部はタイマユニット蓋内にあります。タイマユニットはポンプ本体から取り外す事が出来ます。タイマユニットの確認・変更を行う際は次の手順に従って行って下さい。

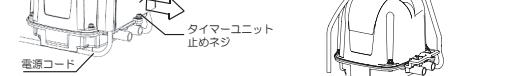
1. タイマユニット止めねじを外します。

2. タイマユニットを前(左田方向)にスライドさせてから上に引き上げます。

3. その時、ポンプを少し傾けて電源コードをポンプ下部の溝から外します。

4. タイマユニット蓋を上に引き上げて外します。

タイマユニット底面のネジは外さないで下さい。



1. バネの説明

① モニタ(液晶画面)

時刻や状態を表示します。

② [手動逆洗]ボタン

手動で操作を行います。

③ [設定]ボタン

各設定を行います。

④ [時]ボタン

「時」度【逆洗回数】を変更します。

⑤ [分]ボタン

「分」度【操作時間】を変更します。

2. モニタ表示の説明

① 時計表示

時刻設定中は点灯します。

② 自動

自動および緊急逆洗運転中に点灯します。

③ 手動

手動逆洗運転中に点灯します。

④ ON

逆洗状態で運転しているときに点灯します。

逆洗開始時刻および緊急逆洗の設定中に点滅します。

⑤ OFF

逆洗終了時刻および緊急逆洗の設定中に点滅します。

⑥ 8:88

現在時刻と逆洗開始時刻を表示します。

3. 設定の確認

【設定の流れ】

自動運転 ←

現在時刻設定

逆洗1開始時刻設定

逆洗1終了時刻設定

逆洗2開始時刻設定

逆洗2終了時刻設定

逆洗3開始時刻設定

逆洗3終了時刻設定



【設定】ボタンを押すと、自動運転に戻ります。
※タイマ設定の確認が終わったら【設定】ボタンを押して、必ず自動運転モードに戻して下さい。

【手動逆洗】ボタンを押すと設定時刻に関係なく逆洗運転になります。
もう一度【手動逆洗】ボタンを押すと自動運転に戻ります。
【手動逆洗運転】で所定時間経過すれば自動的に手動運転に戻ります。

正常に「ぱっき」「逆洗」の切替ができるか確認して下さい。

5) 緊急逆洗機能

浄化槽への流入負荷が設定値よりも高く水位が点滅毎に上昇するよう施設に【緊急逆洗】モードの設定がなされています。このモードは通常の逆洗に加え、2時間に1回の頻度で3分逆洗を実施する運転方法で、浄化槽の目詰まりを極力抑えたい場合には選択できます。

設定方法：自動運転モードで【ON/OFF】ボタンを点滅しながら【手動逆洗】ボタンを3秒間押します。
表示が「ON/OFF」で【設定】ボタンを押しながら【手動逆洗】ボタンを3秒間押します。
緊急逆洗モードでは、【設定】ボタンによる操作を受け付けませんので、逆洗回数等の設定を変更する場合は、緊急逆洗モードを解除して下さい。

解除方法：緊急逆洗モードで【設定】ボタンを押しながら【手動逆洗】ボタンを3秒間押します。

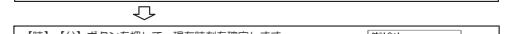
6) リセット機能

以下の異常が見られた場合、【時】【分】ボタンを5秒間同時に押して下さい。

①異常動作、表示があった場合

②設定した内容を取り消し、標準設定に戻す場合は、【時】【分】ボタンを5秒間同時に押して下さい。

リセット操作を行なうことで設定内容を取り消され、表示は現在時刻設定モードになります。再度、現在時刻から設定して下さい。



【時】【分】ボタンを押して、現在時刻を確認します。
（ボタンを押すと逆洗運転になります）

【設定】ボタンを押すと、逆洗運転を停止し、引き続いている逆洗回数の確認。

時刻設定のみの場合は、液晶表示が自動運転（「現在時刻」と「自動」が点灯）になります

【設定】ボタンを押して下さい。

2) 逆洗回数の確認及び設定方法

逆洗回数は同時に3回に設定されています。液晶表示が「c 3」と表示されていることを確認して下さい。

逆洗回数の確認及び設定をする必要がある場合は、下記要領にしたがい操作して下さい。

【設定】ボタンを押し、逆洗運転設定モードに切り替え、逆洗回数（3回）で点滅している場合は、【時】【分】ボタンを押して下さい。

逆洗回数が合っていない場合は【時】【分】ボタンを押して正しい逆洗回数を設定して下さい。

3) 逆洗開始時刻と終了時刻の確認と設定

逆洗開始・終了時刻はポンプ時に初期設定されています。

設定内容の確認及び設定内容を変更する必要がある場合は、下記要領にしたがい操作して下さい。

手順1 液晶表示が「自動」になっている状態で【設定】ボタンを3回押すと、逆洗番号『1』が表示されます。

手順2 【設定】ボタンを押すと、1回目の逆洗開始時刻が表示されます。

開始時刻が合っていない場合は【時】【分】ボタンを押して正しい時刻を設定して下さい。

手順3 【設定】ボタンを押すと、1回目逆洗終了時刻が表示されます。

終了時刻が合っていない場合は【時】【分】ボタンを押して正しい時刻を設定して下さい。

手順4 【設定】ボタンを押すと、逆洗番号『2』が表示されます。

手順5 【設定】ボタンを押すと、2回目の逆洗開始時刻が表示されます。

開始時刻が正しく設定されているか確認します。

手順6 【設定】ボタンを押すと、3回目の逆洗終了時刻が表示されます。

終了時刻が正しく設定されているか確認します。

手順7 【設定】ボタンを押すと、逆洗番号『3』が表示されます。

手順8 【設定】ボタンを押すと、逆洗運転が開始されます。

開始時刻が正しく設定されているか確認します。

手順9 【設定】ボタンを押すと、逆洗終了時刻が表示されます。

終了時刻が正しく設定されているか確認します。

手順10 【設定】ボタンを押すと、逆洗運転が終了します。

逆洗運転が正しく終了するか確認します。

手順11 【設定】ボタンを押すと、自動運転に戻ります。

逆洗運転が正しく戻るか確認します。

手順12 【設定】ボタンを押すと、標準設定に戻ります。

標準設定が正しく戻るか確認します。

手順13 【設定】ボタンを押すと、逆洗運転が開始します。

逆洗運転が正しく開始するか確認します。

手順14 【設定】ボタンを押すと、標準設定に戻ります。

標準設定が正しく戻るか確認します。

手順15 【設定】ボタンを押すと、逆洗運転が終了します。

逆洗運転が正しく終了するか確認します。

手順16 【設定】ボタンを押すと、自動運転に戻ります。

逆洗運転が正しく戻るか確認します。

手順17 【設定】ボタンを押すと、標準設定に戻ります。

標準設定が正しく戻るか確認します。

手順18 【設定】ボタンを押すと、逆洗運転が開始します。

逆洗運転が正しく開始するか確認します。

手順19 【設定】ボタンを押すと、標準設定に戻ります。

標準設定が正しく戻るか確認します。

手順20 【設定】ボタンを押すと、逆洗運転が終了します。

逆洗運転が正しく終了するか確認します。

手順21 【設定】ボタンを押すと、自動運転に戻ります。

逆洗運転が正しく戻るか確認します。

手順22 【設定】ボタンを押すと、標準設定に戻ります。

標準設定が正しく戻るか確認します。

手順23 【設定】ボタンを押すと、逆洗運転が開始します。

逆洗運転が正しく開始するか確認します。

手順24 【設定】ボタンを押すと、標準設定に戻ります。

標準設定が正しく戻るか確認します。

手順25 【設定】ボタンを押すと、逆洗運転が終了します。

逆洗運転が正しく終了するか確認します。

手順26 【設定】ボタンを押すと、自動運転に戻ります。

逆洗運転が正しく戻るか確認します。

手順27 【設定】ボタンを押すと、標準設定に戻ります。

標準設定が正しく戻るか確認します。

手順28 【設定】ボタンを押すと、逆洗運転が開始します。

逆洗運転が正しく開始するか確認します。

手順29 【設定】ボタンを押すと、標準設定に戻ります。

標準設定が正しく戻るか確認します。

手順30 【設定】ボタンを押すと、逆洗運転が終了します。

逆洗運転が正しく終了するか確認します。

手順31 【設定】ボタンを押すと、自動運転に戻ります。

逆洗運転が正しく戻るか確認します。

手順32 【設定】ボタンを押すと、標準設定に戻ります。

標準設定が正しく戻るか確認します。

手順33 【設定】ボタンを押すと、逆洗運転が開始します。

逆洗運転が正しく開始するか確認します。

手順34 【設定】ボタンを押すと、標準設定に戻ります。

2) 維持管理の方法

下記項目を定期的に実施してください。

△ 注意

定期的なメンテナンスを怠ると、ポンプの寿命が短くなる他、浄化槽の機能を低下させる原因になります。

・電源コード・プラグのチェック

電源コード・プラグの接着が剥離していないか、電源コード・プラグが異常に熱くなかったり、プラグの刃部分にはこげが付着していないか、プラグが根元まで確実に差し込まれているかを確認してください。

・ポンプとポンプ周りのチェック

ポンプが動作しているか、ポンプの音、振動に異常がないか確認してください。

ポンプ周囲に可燃物が置かれている場合は 50cm 以上離してください。

・圧力のチェック

使用圧力は正常圧力範囲に合わせてください。

浄化槽の水位の推移、散気孔の目詰まり、ストップバルブの絞り具合などで使用圧力が高くなると、ポンプ内の温度が過熱端上にあって、ポンプが早期に破損する恐れがあります。

また、異常な音が鳴りだすと同時にポンプが破裂する原因となります。

・クリーナエレメント・クリーナパッキン

クリーナエレメントは、3ヶ月毎に1度点検・清掃を実施してください。

汚れがひどい場合は交換してください。クリーナパッキンが劣化している場合は交換してください。

・チャンパブロック

1年1度、駆動部のチャンパブロックを左右同時に交換してください。

チャンパブロックのゴム部品は通常のものよりも柔軟性があり、劣化は避けられません。

また、高湿度での使用や水の出入りなど使用条件によっては劣化は進行しますので、チャンパブロックは消耗部品として定期的に交換してください。

チャンパブロックの交換などはカバー、カバーフレートをあけながら、カバーパッキン、カバーフレートパッキン、ケーシングパッキンなどを交換してください。

チャンパブロックが破損したまま運転されると、ロッドや磁石部が破損に至ることがあります。

ロッドが破損した場合は交換してください。電磁石が破損した場合は、ポンプを使用しないでください。

10. 異常診断チェック表

| こんなとき | お調べください | 処置 |
|-------------------------|--|--|
| ポンプが動かない | 電源プラグが抜けていませんか？ | 種類に差し込んでください。 |
| | 漏電ブレーカーが跳ねていますか？(家庭側) | 状況を確認しブレーカーを戻してください。 |
| | 保護スイッチが作動していませんか？ | ポンプ内部に水が侵入し漏電や感電の原因となります。 |
| チタンパブロック、ロッドが破損していませんか？ | チタンパブロック、ロッドを交換してください。 | |
| 内部の配管が断続していませんか？ | テヌス等で通路を確認して交換・修理してください。 | |
| 空気量が少ない | クリーナエレメントが汚れていませんか？ | クリーナエレメントの点検・清掃または交換をしてください。 |
| | チタンパブロック、ロッドが破損していませんか？ | チタンパブロック、ロッドを交換してください。 |
| | 配管が詰まっていますか？ | ポンプの吸込部と散気部の栓を開閉してください。 |
| 音、振動が大きい | ポンプに物を接触していませんか？ | ポンプを確認し、必要に応じて交換してください。 |
| | クリーナカバーが正しく取付けていますか？ | クリーナカバーを正しく取付けしてください。 |
| | クリーナエレメント、クリーナパッキンが正しく取付けていますか？ | クリーナエレメント、クリーナパッキンを正しく取付けください。 |
| | カバーパッキン、カバーフレートパッキン、ケーシングパッキンが正しく取付けていますか？ | カバーパッキン、カバーフレートパッキン、ケーシングパッキンを正しく取付けください。 |
| | チタンパブロック、ロッドが破損していませんか？ | チタンパブロック、ロッドを交換してください。 |
| | コントロールベースとポンプとの間にタッキシードがありますか？ | ポンプを確認してください。 |
| | 使用圧力範囲外で運転させていませんか？ | 圧力の確認と調整をおこなってください。 |
| | ポンプを傾けて使用していませんか？ | ポンプを水平に置きなおしてください。 |
| | 配管のはずれ、破裂はありませんか？ | 配管を確認し、必要に応じて交換してください。 |
| 逆洗運転ができない | 逆洗時間の表示が残っていませんか？ | 販売店に連絡してください。 |
| | タイマーの手動洗浄ボタンを押すと、逆洗側から逆洗水流が空気で出ているか確認します。 | 逆洗水流から空気で出ているか確認し、古い逆洗水流した場合逆洗水流を確認してください。 |
| 浄化槽から漏水がある | ポンプの仕様は適切ですか？ | ポンプが正常に作動しているか確認してください。 |
| | ポンプは正常に作動していますか？ | ポンプが正常に作動しているか確認してください。 |
| | その他 | 浄化槽の点検をおこなってください。 |

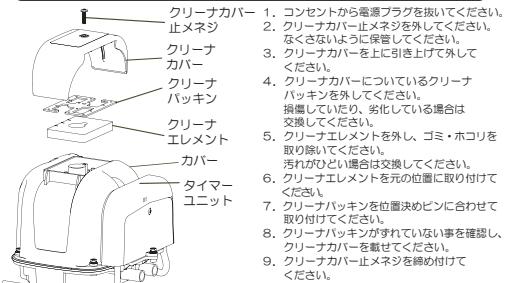
11. クリーナエレメントの点検・清掃・交換方法

クリーナエレメントの点検・清掃は 3~4 ヶ月毎に 1 度実施してください。

クリーナエレメントが目詰まりしているときやクリーナパッキンの劣化がある時は交換してください。

△ 注意

これらの点検を怠ると、吐出空気量の減少や本体の異常過熱が発生し、ポンプの寿命が短くなる他、浄化槽の性能を低下させる原因となります。



△ 注意

クリーナカバー 1. コンセントから電源プラグを抜いてください。 2. クリーナカバー止メジを外してください。

クリーナ 3. クリーナカバーを上に引き上げて外してください。

クリーナ 4. クリーナカバーについているクリーナ

パッキンを外してください。 損傷したり、劣化している場合は交換してください。

5. クリーナエレメントを外し、ゴミ・ホコリを取除いてください。 汚れがひどい場合は交換してください。

6. クリーナエレメントを元の位置に取り付けてください。

7. クリーナカバーカバーを位置決め金に合わせて取付けてください。

8. クリーナカバーカバーが正しい事を確認し、クリーナカバーを載せてください。

9. クリーナカバー止メジを締め付けてください。

△ 注意

ロッドに使用している磁石は非常に強力です。取扱いには注意してください。

△ 注意

(チャンパブロック・ロッドの取付方法) 1. 新しいダイヤフラム AY とロッドの片側を付属の新しいUロックナットと平ワッシャーで固定して下さい。(図5)

1.5. ロッドをフレームに差し込み、フレームにダイヤフラム AY を取り付けてください。

ロッドのソル部が上になるよう取り付けてください。(図7)

はめ込みににくい時は、ダイヤフラム AY の外周部に水を塗布してから取り付けてください。

△ 注意

・クリーナパッキンがずれて取付られたり、劣化したものを取り付けられる、雨水が内部に浸し漏電の原因となる他、ポンプが早期に破損する原因となります。
・点検・清掃・交換後は、必ず試運転をおこなってください。(7 試運転 参照)

12. チャンパブロック/ロッドの交換方法

(カバーの分解方法)

1. コンセントから電源プラグを抜いてください。

2. ポンプ本体から、L型配管を外してください。

3. カバーパッキン(4本)を外してください。(図1)

4. カバーを外してください。(図2)
留め替して外にくい場合は、カバーとタンクの溝の間にマイナスドライバーなどを差しみみ、こじ開けてください。

5. 防音ネットを駆動部から外してください。

(カバーフラッシュの交換方法)

6. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図3)

7. 新しいカバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。

8. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図4)

9. マイナスドライバーをカバーのJ部品に取り付けてください。(図5)

10. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図6)

11. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図7)

12. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図8)

13. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図9)

14. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図10)

15. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図11)

16. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図12)

17. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図13)

18. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図14)

19. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図15)

20. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図16)

21. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図17)

22. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図18)

23. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図19)

24. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図20)

25. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図21)

26. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図22)

27. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図23)

28. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図24)

29. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図25)

30. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図26)

31. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図27)

32. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図28)

33. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図29)

34. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図30)

35. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図31)

36. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図32)

37. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図33)

38. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図34)

39. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図35)

40. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図36)

41. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図37)

42. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図38)

43. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図39)

44. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図40)

45. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図41)

46. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図42)

47. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図43)

48. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図44)

49. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図45)

50. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図46)

51. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図47)

52. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図48)

53. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図49)

54. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図50)

55. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図51)

56. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図52)

57. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図53)

58. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図54)

59. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図55)

60. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図56)

61. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図57)

62. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図58)

63. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図59)

64. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図60)

65. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図61)

66. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図62)

67. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図63)

68. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図64)

69. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図65)

70. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図66)

71. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図67)

72. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図68)

73. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図69)

74. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図70)

75. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図71)

76. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図72)

77. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図73)

78. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図74)

79. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図75)

80. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図76)

81. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図77)

82. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図78)

83. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図79)

84. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図80)

85. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図81)

86. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図82)

87. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図83)

88. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図84)

89. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図85)

90. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図86)

91. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図87)

92. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図88)

93. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図89)

94. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図90)

95. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図91)

96. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図92)

97. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図93)

98. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図94)

99. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図95)

100. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図96)

101. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図97)

102. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図98)

103. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図99)

104. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図100)

105. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図101)

106. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図102)

107. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図103)

108. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図104)

109. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図105)

110. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図106)

111. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図107)

112. カバーフラッシュをカバーのJ部品に取り付けてください。(図10